



市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 31

おもな内容

- 議案審議 2~3
- 特集:議会改革 4
- 政務調査費 5
- 常任委員会報告 6~9
- 一般質問 10~16
- 特別委員会報告 17
- 組合議会報告 18
- 議会のしくみ・表彰など 19
- こうか再発見 Vol.3 20



岩上保育園夕涼み会

議会で審議したもの

条例・予算・意見書・請願書 ほか

28議案 慎重審議により議決

平成24年6月定例会は6月5日より6月22日までの18日間にわたり開会されました。人事4件、条例8件、補正予算4件、契約1件、その他2件、意見書8件、請願書1件の全28件に対し慎重に審査いたしました。その結果は次の通りです。

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会(議会中継)で本議会の模様をご覧いただけます。
http://www.city.koka.shiga.jp/

議決結果

- ・人事4件 (全員賛成で可決)
- ・補正予算4件 (全員賛成で可決)
- ・条例8件 住民基本台帳の利用に関する条例ほか (7件全員賛成で可決、1件賛成多数で可決)
- ・契約1件 (賛成多数で可決)
- ・その他2件 (全員賛成で可決)

認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める請願書

認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める請願書 (賛成多数で採択) (意見書8件 (P.3参照))

主な議案

◆住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定
市民生活の利便性向上を図るため、自動

条例の一部改正

◆手数料条例の一部を改正
住民基本台帳の多目的利用の推進を図るため、当該カードの交付手数料を徴収しないこと及び自動交

交付機の更新による住民基本台帳の多目的利用を行うにあたり、当該カードの利用手続き及び関連システムの運用について定める。

(賛成多数で可決)



◆上水道拡張事業分担金徴収条例の一部改正
しがらきニュータウン拡張事業に伴い、分担金を徴収する区域に、信楽町中野、杉山及び小川の各一部を追加。
(全員賛成で可決)

主な補正予算

5億904万円で落札 (賛成多数で可決)

その他

◆字の区域及び名称の変更
甲南町寺庄駅周辺土地区画整備事業における施行区域を本年度に換地処分することに伴い、字の区域及び名称の変更を行う。

◆甲賀広域行政組合規約の一部変更に関する協議につき議決を求めることについて (全員賛成で可決)

契約の締結

◆地域情報化基盤整備事業光ファイバー網敷設工事
パナソニックソリューションズジャパン株式会社関西支社 一般競争入札にて

◆平成24年度一般会計補正予算
(仮称) 水口北部地域防災コミュニティセンター整備事業の債務負担行為設定に伴い2億9千37万5千円の減額。
▽住民基本台帳法改正に伴うシステム改修経費3千755万円。
▽認知症対応型通所介護施設(NPO法人ひなたほっこ) 整備の補助金1千万円。
▽防災組織育成助成の追加費200万円。
(全員賛成にて可決)

◆平成24年度甲賀市水道事業会計補正予算
▽信楽ニュータウン拡張事業に伴い2千832万1千円の増額。
(全員賛成で可決)

請願書

◆大飯原発の再稼働を認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める請願

《提出者》

- 子供たちの未来を守る会 代表 村木奈々子
- 自然育児サークル 代表 玉崎 洋子
- 家庭用電力自立の会 代表 森本 和征
- 母乳育児を楽しむ会はこ 代表 街道波都企

本請願は総務常任委員会に付託され、賛成多数で採択し、意見書として賛成多数で可決しました。

大飯原発の再稼働を認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める意見書

2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故は1年3ヶ月を経過した今も、周辺地域のみならず、地球規模の放射能汚染を引き起こす未曾有の被害をもたらしている。

5月5日には北海道電力泊原発が定期点検のため運転停止となり、国内にある50基の原発すべてが運転停止となったが、政府、関西電力は夏の電力不足対策として福島原発の事故原因や原子力規制機関も未設置の中で停止している大飯原発3号機、4号機を再稼働させることを決定した。

福島県、及び原発周辺に位置する県に住む多くの方々は、住み慣れた家や職場、街を失い、今なお避難生活を余儀なくされている。そして、未だに高い放射線量が計測されている地域の、子どもを持つ親は「見えない放射能」に子どもをさらすことへの不安を抱え、今後出てくるかもしれない子どもたちの健康被害に怯え、大変な精神的苦痛を抱えながら生活されている。

滋賀県は14基もの原発を有している福井県と隣接している。福井で過酷な原発事故が起これば、滋賀県全域、そして関西全域1400万人の水源地であるびわ湖も放射能汚染は免れない。わたしたちはびわ湖を守り、子どもたちの未来を守らなければならない。

私たちは今後、地球規模の環境汚染の最たる原因となり、子どもたちの未来を脅かす原子力発電に頼る社会ではなく、地域自立型の再生可能エネルギー政策に転換し、無駄な電気を使わない省エネルギー社会の実現を強く求める。

1. 福島第1原発事故調査が難航し、原因究明も困難なほどの、未曾有の放射能汚染が広がっている中で、大飯原発3号機、4号機の再稼働を認めないこと。
2. 省エネルギー社会実現のために、国、地方自治体あげて今夏の電力需給ピーク時の有効な節電対策に積極的に取り組み、地域自立型の再生可能エネルギーの開発に力を入れること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月22日 甲賀市議会議員 岩田 孝之

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 あて
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣

意見書の可否

○: 可決 ●: 否決

意見書案第13号	県道整備にかかる予算の確保を求める意見書の提出について	○
意見書案第14号	医療ケアが必要な子どもたちの通学保障を求める意見書の提出について	●
意見書案第15号	水循環基本法案(仮称)の早期制定を求める意見書の提出について	○
意見書案第16号	国の制度で子どもの医療費無料化の完全実施を求める意見書の提出について	●
意見書案第17号	秘密保全制度に反対する意見書の提出について	●
意見書案第18号	マイナンバー法案の撤回を求める意見書の提出について	●
意見書案第19号	国民健康保険制度への国庫負担の増額を求める意見書の提出について	●
意見書案第20号	大飯原発の再稼働を認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める意見書の提出について	○

採決が全員一致以外の議案

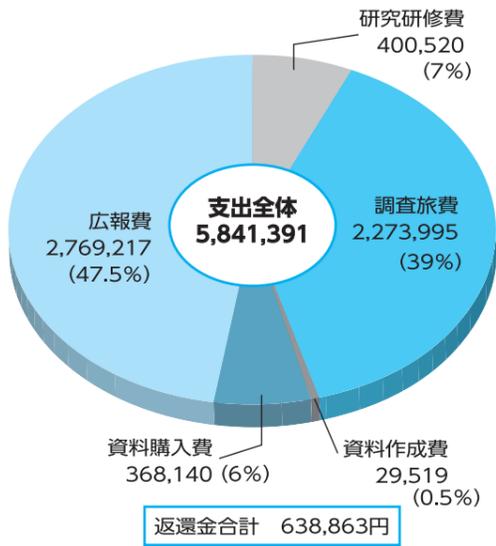
○: 賛成 ●: 反対

議案名	清風クラブ	甲政クラブ	日本共産党	正政会	公明党	可否
住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定	○	○	●	○	○	可決
地域情報化基盤整備事業光ファイバー網敷設工事	○	●	○	○	○	可決

各会派別政務調査費

平成23年度詳細内訳

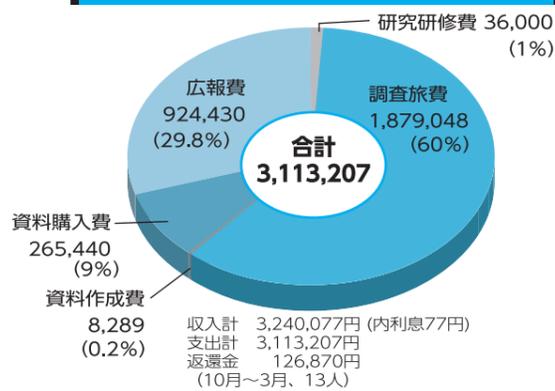
《単位：円》



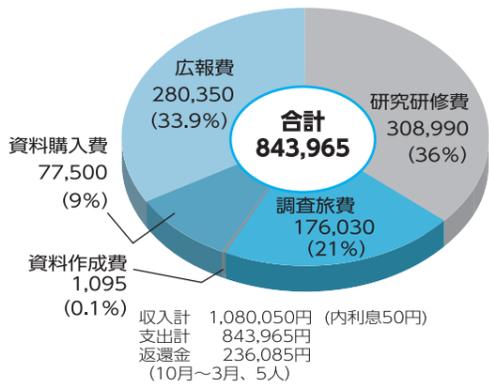
議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として「政務調査費」が交付されています。政務調査費は、議員1人1ヶ月2万円、所属会派(無所属議員)にあっては個人に交付し、年度末にその使途を明確にして精算し、残金は返還するシステムとなっています。

平成23年度の会派別政務調査費の使途金額を円グラフで表しました。領収書は1円単位で添付されています。

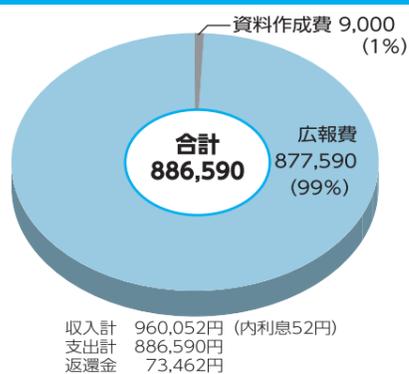
清風クラブ (14人)



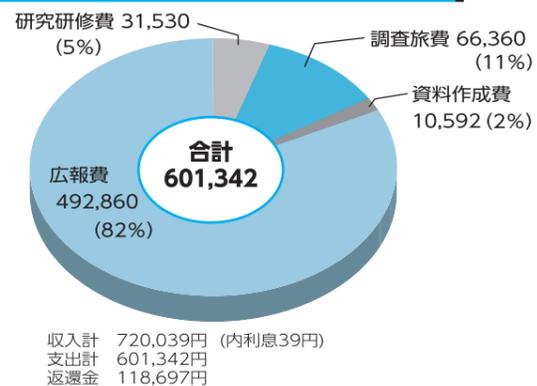
甲政クラブ (4人)



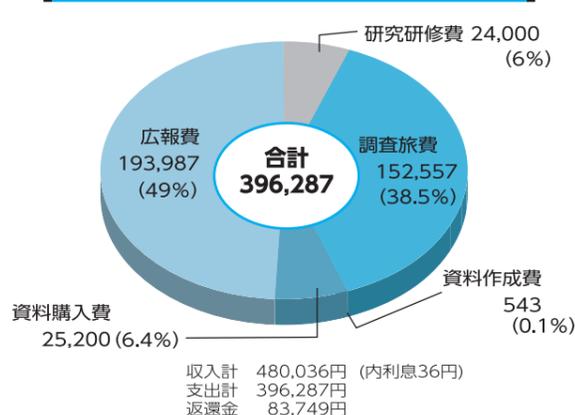
日本共産党甲賀市議員団 (4人)



正政会 (3人)



公明党甲賀市議団 (2人)



取り組んでいます

議会改革

特集



議会改革特別委員会の経過

平成20年3月議会で議会改革特別委員会を設置し、「市民に開かれた議会と議会運営の確立」を目指して、これまでに議員定数を27名に削減、費用弁償の定額を減額、一般質問における質問方式に「一問一答」を採り入れるなどの改革を行ってきました。

そして現在、議会基本条例の策定に向けて検討を重ねています。平成22年7月30日開催の委員会から議会基本条例についての本格的な議論を始め、22回の委員会を開催し素案を作り上げました。

『議会基本条例』策定へ

議会とは

議会は市民から直接選挙で選ばれた議員による市の意思決定機関であり、市民の意思を代弁する責務と行政事務執行に対する監視機能および立法機能の重要な責務を負っています。

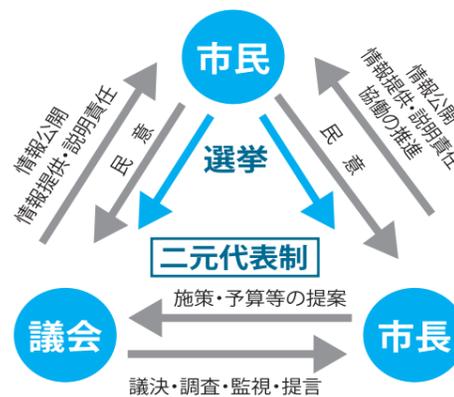
議員と市長はともに市民の負託を受け、対等な二元代表制のもと市民福祉の向上と市勢発展のために不断の努力を続けるものです。

議会基本条例とは

議会運営および議員に関する基本的な事項を定め、市民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的に、議会の最高規範として定めるものです。

議会基本条例策定の経緯

全国の先例市の条例を参考にしつつ、甲賀市独自の条例にしよとの強い思いで取り組んできま



た。議論の進め方としては、章立て(最終的には10章24条)を検討し原則として各条文につき提案、協議、決定の手順を踏んだ素案策定となりました。議論の過程で疑問が生じた点などは、全国市議会議長会事務局、甲賀市法務室等の見解も確認しながら検討を進め最終的には議員全員のチェックを受け、指摘された事項について再検討を進めてきました。

今後市民の皆様のご意見を頂き策定します。

議会基本条例のポイント

- 市民と議会との関係
情報を積極的に公開し市民が議会の活動に参加できるよう努める。
- 討論による合意形成
議会は議員による討論の場であることを認識し、議員間の討議の活性化を図る。
- 議会と行政との関係
二元代表制のもと、緊張感の保持に努める。質疑応答は論点および争点を整理し市民に分かりやすい方法で行う。
- 事務執行の監視と評価
政策や予算等の説明を市長に求め、事務執行の監視と評価を実施。また、政策提言を積極的に行う。

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。



新設された自動交付機

本条例制定の目的は次のとおりです。市民生活の利便性を図るため、住民基本台帳カードの交付を受けた住民の方が、新たに設置する自動交付機を利用して、住民票の写し、戸籍全部事項証明書、印鑑登録証明書等の各証明の交付を受けるサービスを提供する

ことを目的とし、当該住民基本台帳カードの多目的利用と利用手続き等を定める条例の制定です。現在ご利用いただいている自動交付機の耐用年数に伴ない、新たに設置する自動交付機に合わせ、住民基本台帳カードの多目的利用を可能としようとするものです。現在お手持ちの市民

カードは、そのまま今後も印鑑登録証明書窓口交付として利用可能です。新たな住民基本台帳カードの機能は、写真付の場合本人確認書類として公的個人認証されます。また、暗証番号の登録による自動交付機利用で、①印鑑証明②住民票③住民票記載事項証明④戸籍の全部・一部証明⑤附表の全部・一部証明と交付書類が増やされました。6月12日議決された「手数料条例の一部改正」により、住民基本台帳発行手数料500円が26年3月31日まで免除となり、自動交付機

Q 情報セキュリティに問題がないか
10年前、個人情報保護法が一元管理する住民基本台帳ネットワークを作ることに、プライバシーの確保に問題がある。今回の住民基本台帳の情報セキュリティの問

Q マイナンバーカードとの関係は
カードの普及の推進は、国のマイナンバーカードや社会保障の一体改革・消費税増税を見据えてのことか。
A マイナンバーカードとは次元が異なる

賛成両討論の後、採決を行ない、賛成多数で付託議案「甲賀市住民基本台帳カード利用に関する条例の制定について」は、原案の通り可決すべきものと決定しました。

付託議案

住民基本台帳カード利用に関する条例賛成多数で可決

当常任委員会は、「甲賀市住民基本台帳カード利用に関する条例の制定について」付託を受け6月19日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と詳細な説明を求め、慎重に審査しました。



新たな住民基本台帳カードの機能は、写真付の場合本人確認書類として公的個人認証されます。また、暗証番号の登録による自動交付機利用で、①印鑑証明②住民票③住民票記載事項証明④戸籍の全部・一部証明⑤附表の全部・一部証明と交付書類が増やされました。6月12日議決された「手数料条例の一部改正」により、住民基本台帳発行手数料500円が26年3月31日まで免除となり、自動交付機

A セキュリティは確保されている
情報は国が一元管理している地方自治情報センターにアクセスすることになるが、トラブルは認識していない。ネットワーク未加入は全国で1町だけであり普及したものと考えられる。セキュリティは確保されている。

マイナンバー制度とは次元が異なるもの、あくまで証明事項の市民サービスを目的としたものであり、自動交付機更新がたまたまタイミングが合っただけである。

総務常任委員会

市行政推進の中核に関わる委員会です。

付託議案

「大飯原発の再稼働を認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める」請願を審査

当常任委員会は、去る6月19日に委員会を開催し、市内の4団体から提出された標記請願について慎重に審査しました。



大飯原発

まず、請願第2号「大飯原発の再稼働を認めず、省エネルギー社会の実現、地域自立型の再生可能エネルギー政策の実施を求める請願」について、委員会協議会に切り替え、請願者である4団体の代表から本請願の趣旨説明を受けました。
各代表の思い
・母親の一人として核のゴミを子孫へ渡すことは許せない。あきらめずに声をあげていきたい。
・小学校5年生の子どもですら、原発再稼働には疑問をもっていきいます。何が安全なのかを考えていきたい。
・関電は原発だけ稼働

しているのではない。電気の実情をいえば足りている。企業や行政がもっと努力することが必要ではないのか。

の「安全神話」が崩れた今、不安を抱えたままの再稼働に対する、子を持つ親たちの純朴な請願であり、提出時期と政府の決定時期と

が異なる状況の中であるが、市民目線で必要な意見を政府に提出することは大事なことであり、ぜひ、採択してほしい。一方、平成23年6月議会にて採択された意見書第9号のその後の政府対応について、原発には危険性が伴う以上、一日も早く再生可能エネルギーにシフトすべきである。また福井県大飯町の原発再稼働容認の決断をどう受けとめているのか、原発地元という基準を明確にすべき等々の意見が交わされ質疑討論の結果、賛成多数により、本請願は採択すべきものと決しました。

自治振興会の現状と課題について
・地域市民センターの業務及び自治振興会の体制等



自治振興会長から説明を受ける

5月25日、執行部の出席を求め委員会を開催しました。最初に委員会協議会に切替え、水口、土山、甲賀、甲南、信楽の各地域の自治振興会長5名から、発足して約1年を経過した自治振興会の現状と課題についての説明を受けました。交付金交付の時期・予算が人口の割りに少ない、自治会未加入者対策、市と市民の役割のすみ分け高齢者支援のあり方等の課題が報告されました。

認知度向上も含め、加算金の配分方法、報告書式の簡素化など委員会としても改善策を執行当局に強く提言していきます。

産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

5月16日、本年度水道事業会計予算に計上されている岩室加圧所等整備事業等について現地調査を行いました。同事業は現在の岩室水源の施設整備を行うことにより安定した飲料水の供給を図るもので、甲南地域への飲料水供給も行う予定です。

観光戦略事業
4月19日、観光戦略事業について所管事務調査を行い、午後は鮎河のうぐい川等を現地調査しました。うぐい川では地元の方々からその取り組みについてお聞きしました。

所管事務調査

当常任委員会では4月19日、5月16日に所管事務調査を行い、観光戦略事業、水道事業等についてそれぞれ調査しました。

観光戦略・水道事業等について調査

希望ヶ丘地域に飲料水を供給していた高架水槽塔が不要となり、本年度撤去工事が計画されています。委員からは、特に撤去工事の安全対策について質問がなされました。



希望ヶ丘の撤去される水槽塔

行政視察

林業振興と

観光振興について

7月9日、10日の2日間、兵庫県宍粟市と岡山県真庭市において行政視察を行いました。

兵庫木材センター

兵庫県宍粟市の兵庫

木材センターは間伐材の加工を機械化し、極



兵庫木材センター行政視察

力コストを抑え外材にも対応できる施設で、施設の面積は約5万㎡と広大で、施設整備にかかる事業費は約20億円です。従業員は約50人で地元の雇用促進にもつながっています。

同組合の八木理事長の大手住宅メーカーの高い品質や低コストの要望にも応えているという説明に、経営に対する自信と誇りを感じました。

山林の所有者にも利益が還元されるとも

真庭市では観光回廊として観光拠点

を線から面としていく計画や、市内で校外学習等で宿泊した場合の補助制度「コンベンション・教育旅行における補助制度」、各観光地のライブカメラ設置、勝山町並み保存地区等について説明を受けました。

真庭市では観光客入込数500万人を目指し、地域に誇りを持ちながら行政と民間が連携して観光を進めています。

また、第6回B

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

所管事務調査

5月9日、委員会を開催し本年度の組織体制・経営方針ならびに重点施策について調査を行いました。

教育委員会事務局組織体制および経営方針・重点施策

本年度教育委員会事務局組織体制について説明を受け、引き続き経営方針並びに重点施策の取り組みについて説明を受けました。

甲賀市の将来像である「一人 自然 輝きつづける あい甲賀」を具現化するために、教育委員会事務局は、甲賀市総合計画に掲げられている「たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる」ことを教育方針とし、教育施策を総合的に推進し、輝きつづける「甲賀の教育」の振興を図る。また、使命を果たすための方針として、



- ①学びが生きがいをつみだすまちづくり
- ②子どもや若者がいきいきと育つまちづくり
- ③歴史と文化を守り創るまちづくり

が示されました。重点施策では保育園の耐震化、新しい地域コミュニティを支援する社会教育の推進、水口体育館の屋根防水工事および施設整備基金構想の策定、あいこるか「うた」プロジェクトの実施、史跡紫香楽宮跡整備活用基本計画の策定について、質疑を行いました。

主な質疑では、今後の小中・幼保の適正規模適正配置との関係はどう考えるか。耐震化はよいが、小規模の幼稚園・保育園・小学校の再編に向けた方向性はいつ出すのか。公民館活動が停滞している現状で重点施策にはないがどうしていくか。など、多くの意見が出されました。

行政視察

小中一貫教育について 廃校を利用した都市住民等との

交流事業

7月10日、11日に小中一貫教育、また、廃校を活用した都市住民等との交流事業の先例地である静岡県浜松市と島田市へ行政視察に伺いました。

浜松市

小中一貫教育基本方針は平成19年4月策定、平成22年5月に改定し「中1ギャップの解消」・「小学校・中学校



の円滑な接続」さらには「小規模校への対応」を目的に全市中学校区で取り組まれています。主に小中一貫校では同じ敷地内で小学校と中学校が1つの学校として運営されている引佐北部小中学校について説明を受け、学校を視察しました。



9年生の教室(中学3年生)

9年間の学びと育ちをつなぐという視点と教育内容の充実のため6・3制から初等部4年(1年~4年)中等部3年(5年~7年)高等部2年(8・9年生)に分け発達段階に応じた縦割り集団を重視した取り組みや、新設教科として小1から「国際コミュニケーション」で外国語、ま

島田市

「山村都市交流センターささま」を訪れ、廃校を利用した施設整備の目的や経緯について説明を受け、特筆すべきこととして地域の活性化が図れる施設という点でした。今回の視察研修を今後の取り組みに活かしていきたいと思えます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

問 第3子保育料無料は、現在B2とC12が対



バス通学の小学生

市 長 低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため、市独自の制度を実施している。現行制度で対応していく。

山岡光広 議員 問 年少扶養控除廃止によって市民税は1億8千万円増収に。これを小中通院医療費と第3子保育料無料化の対象枠拡大、遠距離通学バス補助の拡大など子育て支援策拡充に活かすべき。

A

現行制度で対応していく

Q

年少扶養控除廃止による増収を子育て支援に

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

問 自治会、自治振興会と行政の住み分けを明確に。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

Q 通学路の安全対策は万全か

葛原章年 議員

A

総点検を実施し対応している



子どもたちの安全を願って

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

問 自治会、自治振興会と行政の住み分けを明確に。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

問 自治会、自治振興会と行政の住み分けを明確に。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。

問 自治会、自治振興会と行政の住み分けを明確に。

市 長 自治基本条例制定のなかで議論を進めていきたい。



信楽高原鉄道七ヶ列車

18人の議員が 市の考えを問う 一般質問

平成24年 第2回甲賀市議会定例会一般質問

平成24年6月14日・15日・18日

順番	質問方法	氏名	質問事項
1	分割	山岡 光広	1. 年少扶養控除廃止に伴う税収を子育て支援の拡充に
			2. 新庁舎建設問題について
			3. 2011年5月19日大阪高裁での確定判決について
			4. 自治振興会と地域コミュニティのあり方について
			5. 保健師の増員と専門職が生かせる職場環境を
2	分割	葛原 章年	1. 通学路の安全対策について - 亀岡市での事故を教訓に -
			2. 地域産業の振興をめざした中小企業振興基本条例の制定を求める
3	分割	谷永 兼二	1. 省エネ・節電について
			2. 信楽高原鉄道の公有民営化について
4	分割	小西喜代次	1. 信楽高校分校化の白紙撤回の取り組みについて
			2. 特別養護老人ホームの増設と介護保険制度の改善について
			3. 国民健康保険の改善について
			4. 信楽運動公園の管理体制について
5	分割	白坂萬里子	1. 空き家対策について
			2. 学校問題解決のための体制づくりについて
			3. 貴生川認定こども園について
6	分割	橋本 律子	1. 地域公共交通の今後
			1. 災害に強いまちづくりについて
			2. 子育て支援策の拡充について
			3. 視覚障がいのある方への選挙情報の提供について
7	分割	加藤 和孝	4. 学校図書館のさらなる充実について
			1. 合併後の甲賀市財政の推移
			2. 甲賀市財政の取支見直しについて
			1. 広域農道の県道昇格について
9	分割	中島 茂	2. 教育環境について
			1. 福島原発事故後の諸影響に対する本市の対応方針を問う
10	分割	中西弥兵衛	2. 甲賀市の鳥獣害対策への取り組み状況と今後の対応について
			3. 市立図書館の運営・管理状況と今後の図書館像のあり方を問う
			1. 通学路の安全対策について
11	分割	橋本 恒典	2. 学校における環境教育について
			1. 甲賀市の豊かな森林資源の更なる利活用について問う
12	分割	小松 正人	2. 通称城山(水口古城山)を身近で、より親しめるよう総合的整備をすすめることについて
			3. 市道「名坂・的場線」の東名坂通過に伴う車道整備を急げ
			4. 新公立甲賀病院の開院による通院等のコミバス路線の整備について
			1. 観光振興について
13	一括	辻 重治	1. 保育所(園)に高齢者の保育補助員の設置を
			2. 保育所(園)の保護者送迎用の駐車場の整備状況について
14	分割	的場 計利	1. 交通安全意識の向上について
			2. 小・中学校再編について
15	一問一答	今村 和夫	1. 夏の節電対策について
			2. 環境こだわり農業について
16	分割	田中 新人	3. 甲賀市スポーツの活性化について
			1. 観光戦略について
			2. 文化芸術について
17	分割	土山 定信	3. 市道の安全設備の点検は
			1. 「大飯原発3号機・4号機の再稼働はすべきでない」市長の見解を問う
			2. 研修を踏まえ、自然エネルギーへの転換と、太陽光発電などへの市独自補助をすべきだ
18	分割	安井 直明	3. 学校等の補修について、大野小学校の便所の改修と文化ホールの水漏れ対策を問う
			4. 大野地域市民センターへのコミバス実証運行について

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会(議会中継)で本会議の様態をご覧いただけます。
http://www.city.koka.shiga.jp/

◎傍聴のご案内
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 国保の窓口負担 減免の拡大を

A 現在は要件拡大は 考えていない

小西喜代次 議員

問 6月17日の「音楽高校の分校化は許さない総決起集会」の成功は大きな意義がある。この時期に集中的な取り組みが必要と思うが、市長 県の計画に反映されるよう要望・提言を続ける。地元の熱意は大きな力になる。と確信している。



6・17 総決起集会

問 特別養護老人ホームの入所待機者を解消する計画的な整備と、

介護利用料の市独自の軽減措置を求める。健康福祉部長 現在の計画は待機者の解消に向けた計画になっていない。利用料の市独自の軽減は予定していない。

問 国保税の滞納額が年々増加している。払える国保税に引き下げが必要ではないか。市民環境部長 負担と給付のバランスで判断したい。国庫負担の拡充や財政基盤強化策を国に要望していく。

問 国保法44条による医療費の窓口負担減免の拡大を求める。市民環境部長 現行制度により推移を見守る。免除要件の拡大は考えていない。

問 信楽運動公園に管理人の配置を。教育部長 平日の午後は中央公民館の職員が対応している。安心安全に利用できるようさらに検討したい。

白坂萬里子 議員

Q 条例制定に向けた 空き家対策を

A 事例を研究し 対策の検討をする



問 人口減少時代に入り過疎化が進む中、空き家対策はどうか。市民環境部長 調査研究を進め実態把握に努めたい。地域環境の悪化をまねき防犯・防災の危険性からも一歩踏み込んだ条例制定の対策を。市民環境部長 深刻な問題と受けとめ、先進事例を参考に取り組み事例を研究し、対策の検討をしていく。

問 学校内でおきた問題で、保護者絡みの解決困難な問題をサポートする支援体制を。教育長 現時点では深

Q 新甲賀病院への 効率的運行強化を

A 総合的に勘案し 協議を重ねる

橋本律子 議員

問 市民の需要の観点からコミュニティバスやデマンドバス等の効率的運行がより求められる中、デマンドタクシー実証運行の成果と課題を伺う。総合政策部長 コミタク信楽・南新田ルートは以前に比べて4倍の成果があった。現在実証運行の水口・大野デマンドバスは利用が少なく効果の検証に努める。



実証運行中のデマンドバス(予約型)

問 現コミュニティバスの利用見直しを図るべき。総合政策部長 利用者が少ない路線について

問 新甲賀病院の来春開院に伴い、シャトルバス増便や各駅からの直行便も含め今後の計画はどう図るのか。総合政策部長 現在の利用実績・新病院の診療体制など、さらに遠隔地への対応等、総合的に勘案し協議を重ねていく。

加藤和孝 議員

Q 赤ちゃんの駅設置事業は

A 設置に向け検討を進める

問 授乳やオムツ替えのできるスペースを赤ちゃんの駅として制度化すべきでは。県の淡水子育て応援団事業を市内店舗にも声かけして拡大すべきでは。健康福祉部長 公共施設のほか事業所などにも呼びかけ、赤ちゃんの駅の設置に向け検討を進める。淡水子育て応援団事業も県と協働し積極的に進める。



授乳施設などを備えた民間施設の赤ちゃんルーム

問 甲賀市選挙管理委員会として、視覚障がいのある方への選挙

報についての対応は。選挙管理委員会事務局長 投票権は憲法にも保障されている基本的な権利であり、その行使のためには等しく情報を得て自ら判断する過程が不可欠であるため点字や音声などによる選挙公報の導入に向け調査検討していく。問 学校図書館に学校司書の配置が進むよう地方財政措置が行われることになった。本市でもモデル的であったも配置すべきでは。教育長 現在配置されている司書教諭がその職務に専念できる体制整備を県教育委員会に強く働きかけるとともに、他市の先例も参考にしながら、今後検討を進めたい。

Q 市財政に 余裕はあるのか

A 総合計画を実現できる 財政状況だ

木村泰男 議員

問 合併後の財政に変動が大きいのはなぜか。総務部長 三位一体改革やリーマンショックによる景気後退の影響。問 どう対応したか。総務部長 「歳入に見合った歳出」を徹底し財政健全化に取り組んだ。問 昨年度より大型予算編成に転換。合併特別債期限前の駆け込みか。総務部長 総合計画実現に向けた財源を重点的かつ戦略的に配分した。問 激動の時代、財政の見通しに無理はないか。総務部長 現行制度を前提に推計した。適宜見直しを図る。

Table with 12 columns (Year 25-32) and 8 rows (Municipal Tax, Local Allocation Tax, etc.).



大型車の通過車両が多い甲賀広域農道

中島 茂 議員

Q 広域農道の県道昇格について

A 主要な幹線道路であり昇格要請する

問 広域農道の県道昇格は。市長 広域農道は、産業や観光など幅広く利用される甲賀市の根幹をなす基幹道路であり通行量の増加にともなう道路の摩耗による経年劣化は、避けられないと認識している。産業建設部長 市町村と密接な関係がある主

要地などと連絡する道路であることが県道道路線認定条件。国道、県道への接道により主要な幹線道路として県道への昇格を要請していく。問 教育の基本方針と教育ビジョンは。教育長 「甲賀市教育行政基本方針」を毎年策定。乳幼児期には「早寝、早起き、朝ごはん、あいさつ、読書、運動」など基本的な生活習慣を身に付け、生きる力の基礎を培い、人と関わる力や豊かな心と健康やかな体の育成を目指す。学齢期には「命を愛し」「命を磨き」「命を輝かせる」子供たちを育てる。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

中西弥兵衛 議員

鳥獣対策の
取り組み状況は

Q

市内で急増しているニホンジカの生息数と被害状況はどうか。

A

捕獲数のいっそうの拡大に努める

産業経済部長 見直し調査の結果、県全体で6万7千頭、市内では7千700頭と推定されており被害状況は面積で392ha、被害金額は7千300万円と著しく増加している状況。その他にもニホンザル約700頭、イノシシが約200頭、ライグマが約160頭に増加しており被害金額で総計約5千300万円に拡大している状況。

産業経済部長 獣害は集落全体で対策することを基本に、平成23年度末で18集落が取り組みでおり年々広がっている。免許取得では市の経費補助もあり23年度末で50名が新たに取得され活躍されている。しかし生息数の増加に歯止めがかからず、地元の要望も多いため、今後は県計画に定めた目標をスピーディーに達成するため猟友会のご協力のもと、被害防除に努める。



捕獲されたシカ

橋本恒典 議員

通学路の安全対策は

Q

危険箇所の現地調査を実施

A

問 通学路の安全確保のための取り組みは。 教育長 亀岡市等での事故を受け改めて各学校長に通知するとともに、関係機関とともに通学路の危険箇所の現地調査を実施している。

問 市内小中学校での環境教育は。 教育長 体験学習を積極的に取り入れ、地球規模の環境問題まで視野を広げていきたい。 問 学校における節電や省エネは。 教育長 教師の指導に加え委員会活動や生徒会活動を通して取り組みを進めている。



歩道のない危険な通学路

問 省エネ活動で節減した光熱水費の半分はその学校に還元する「フイフイ・フイフイ」の検討は。 教育長 現在、予算編成において当該年度で節約した予算を翌年度に加配分するインセンティブ方式を導入しており、今後の参考としたい。

問 楲原町で医療機関と連携して実施している森林セラピーを本市でも進めてはどうか。 健康福祉部長 甲賀市の持つ自然を生かし、市民と共に主体的な健康づくりをめざす。

小松正人 議員

城山の伐採樹木を放置するな

Q

木柵や散策道等の修繕に用いる調整伐採した樹木が放置されたままだ。

A

産業経済部長 林内処理をするだけでなく、木柵や散策道の修繕に係る資材として使う。



城山の放置された伐採木

問 「名坂・梅ヶ丘線」の東名坂区内の整備を急げ。 建設部長 都市計画道路網の見直しをする。

問 各町から新甲賀病院へ直通バスを走らせよ。また、水口西地域からの新路線を考えよ。 総合政策部長 新病院の利用者の実績、診療体制を総合的に勘案する。新路線は難しい。

問 中学生の自転車通学の安全対策は。 教育長 市内中学校では2千590人が自転車通学しており、安全指導を行うとともに危険箇所は定期的に教職員が現地指導している。今後、小学校に加え中学校の自転車通学路についても安全点検を行う。

問 園児送迎用の駐車スペースが十分でない。朝の登下園時は混雑して危険である。また、近隣の方々にも交通妨げとなるなど迷惑をかけていると心配する。現状はどうか。 教育部長 市内21園のうち、8園において、駐車場が十分に確保されていないと認識する。

問 今後の駐車場確保について整備予定は。 教育部長 現在は、保育園は災害時の一時避難所になっていく。駐車場は避災時の重要な支援スペースとなり互いに学び合い、ともに育つ機能を併せ持ち、確かな学力と豊かな人間性や社会性を育む機能を持つことであると考える。このことから適正規模による学習環境を整えることは大切であり、そのため学校の再編は避けて通



産業経済部長 都会からの修学旅行の受け入れを確実に成功させ、さらなる充実を図るため受



忍者雨傘ととびだし人形

辻 重治 議員

忍者の里 雰囲気づくりは

Q

イメージできる 観光商品開発検討

A

問 観光振興について観光振興計画が平成22年に策定されているがその進捗状況は。 産業経済部長 公共交通機関との連携や受け入れのための環境整備など事業者交流を展開し、関係団体と協議しながら目標年次に向けて進めている。

議員 的場計利

園児送迎用駐車場は足りているか

Q

8園は狭く、不十分な。うち、8園において、駐車場が十分に確保されていないと認識する。朝の登下園時は混雑して危険である。また、近隣の方々にも交通妨げとなるなど迷惑をかけていると心配する。現状はどうか。 教育部長 市内21園のうち、8園において、駐車場が十分に確保されていないと認識する。



通園風景

小・中学校再編について

Q

皆様のお考えも 把握して進める

A

問 小中学校再編について教育長の思いは。 教育長 学校教育は、子どもたちが単に知識や技術を指導者から伝えられ、それを学ぶ機能と備えればよいというものではない。一定規模の集団の中で、様々な人との関わり互いに学び合い、ともに育つ機能を併せ持ち、確かな学力と豊かな人間性や社会性を育む機能を持つことであると考える。このことから適正規模による学習環境を整えることは大切であり、そのため学校の再編は避けて通



市内の小学校

問 不足していると思われる園の送迎時の安全対策は。 教育部長 時差降園や

問 今後の駐車場確保について整備予定は。 教育部長 現在は、保育園は災害時の一時避難所になっていく。駐車場は避災時の重要な支援スペースとなり互いに学び合い、ともに育つ機能を併せ持ち、確かな学力と豊かな人間性や社会性を育む機能を持つことであると考える。このことから適正規模による学習環境を整えることは大切であり、そのため学校の再編は避けて通

問 再編に向けた取り組みは適時公表すべきと考えるが。 教育長 市民の皆様と協議を進める段階において、適時広報する。再編問題について、日常的に地域の皆様と話しすることの必要性について提言いただいた。皆様のお考えも把握することにも努めたい。その取り組みをさせていただきます。



特別委員会の動き



あいコムこうかのスタジオ

し、執行体制や番組紹介と近代的設備について橋本社長より説明を受けました。

自治振興会をはじめとする新しい地域コミュニティ活動の充実・発展に向け、市民の皆さんが共有できる、地域情報ネットワークを確立し、コミュニケーションと地域力の向上をめざすものです。また、市民の生命と暮らしを守るため、地域防災のありかたを抜本的に見直し、有事の際の初期情報伝達手段の一元化を確立するとともに、防災体制の強化を図られます。

情報化の実現に提言提案を行うものです。音声放送端末機を全戸に設置を
防災情報をはじめ、台風情報・気象情報また、地震や食中毒など初期の情報伝達手段を確立し、市民の生命、暮らしを守るため市内全戸に設置をされるものです。
あいコムこうか スタジオ・センター設備を
5月8日に地域情報を提供する新会社「株式会社あいコムこうか」のスタジオと事務所を視察し、執行体制や番組紹介と近代的設備について橋本社長より説明を受けました。

地域情報化特別委員会

新会社のスタジオセンター設備を現地視察



不法投棄の現場視察

環境対策特別委員会が継続的に取り組んでいるクリーンセンター滋賀への監視と散在性を含め不法投棄問題で5月18日に現地踏査を行いました。
クリーンセンター滋賀では、過積載が問題になって以降、ほぼ遵守されていることを確認するとともに、産廃搬入車両であることを明示するステッカーについて掲示の徹底を図るよう再度申し入れしました。

環境対策特別委員会

不法投棄の現場視察



学校給食放射線測定器も視察

昨年と比べて「不法投棄の報告件数が多い」甲賀町内を中心に不法投棄監視員の案内で現場を踏査するとともに実態と解決の方向にむけて意見交換しました。このなかで地域ぐるみで監視パトロールや回収作業を行い改善されている事例が紹介されました。その一方で「注意喚起」だけではなかなか減らない散在性ゴミ対策について意見が出されました。その後県下に先駆けて導入された学校給食食材の放射線測定器について視察研修しました。

交通対策特別委員会

鳥取県若桜鉄道に上下分離方式を学ぶ



地域密着の若桜鉄道

当特別委員会では、コミュニティバスの有効的な運用と信楽高原鉄道（以下SKR）に導入が検討されている鉄道経営の上下分離方式を学ぶため、7月3日・4日に兵庫県豊岡市と鳥取県八頭町に行き視察を行いました。公共交通活性化事業の大臣表彰を受けられた豊岡市では、持続可能なバス交通体系を構築するため、市営バス「イナカー」や地区の乗合タクシー「チクタク」の運用、市職員の公共交通通勤「e通勤」上限200円バスの社会実験など様々な取り組みを通じて活性化を図っておられました。鳥取県若桜鉄道は、鉄道再構築事業として平成21年、全国初の上下分離方式による公有

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

夏節電対策は

田中新人 議員

問 市役所および市内の公共施設の節電対策は。

総務部長 サマーエコスタイルの実施、事務室や廊下等における照明器具のこまめな消灯の実施、「家庭の日」の実施による一斉消灯、パソコンやコピー機における電源オフの実施を昨年以上に徹底する。



太陽光発電モニター

問 昨年夏季における公共施設等での取り組みとこれまでの成果は。
総務部長 電力使用料は平成23年が190万7千KWであり、前年比28万KWの減で約13%の減となっている。
他に「甲賀市スポーツの活性化について」の質問を行う。

問 企業や家庭の節電対策は。
市民環境部長 事業者については自主的な節電対策・ピークカットの取り組みを期待している。一般家庭やオフィスは、市の広報等で具体的な節電対策の啓発を行う。

観光戦略推進室の活動成果は

土山定信 議員

問 観光戦略推進室が組織されて1年2ヶ月が過ぎた。活動内容と成果は。
産業経済部長 主な活動内容は「高速道路等を活かした賑わいづくり」を柱にして「こうかブランド創設と発信」と忍者をテーマに「観光ビジネススマッチング」を開催して昨年の成果は、4千人以上が増加。

問 観光資源として、忍者について甲賀市民の意識を知るために、オリジナルナンバープレート（以下オリジナルと記載）の交付状況

総務部理事 4月5月の交付状況は、市内4月オリジナル142枚、これを選ばなかった方49枚、5月選んだ方54枚、選ばなかった方35枚。
問 この忍者のプレートを選んでいない方からの学びは。
産業経済部長 今後交付状況を検証して観光戦略の参考とする。



原発再稼働は止めよ

安井直明 議員

問 大飯原発は再稼働すべきでない。撤退を判断すべきだ、見解を問う。
市長 再稼働は、国の責任で判断し、中長期のエネルギー政策の在り方を示すべきだ。

問 自然エネルギーがまちづくりの中心の高知県精原町を研修し、テレビでも放映された。太陽光発電への補助は5月に修理した。



2基の風力発電

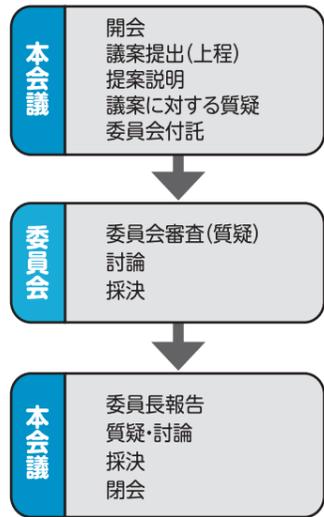


太陽光発電モニター

問 大野小学校外便所は使えない。運動場は散水設備を作ってほしい。文化ホールの水道の漏水修理が必要だ。
産業経済部長 外便所補修の時期と施工内容を検討。散水設備は、手洗い水栓からホースで対応を。文化ホールの漏水補修は5月に修理した。
問 大野地域のデマンドバス実証運行の2月からの実績と今後は。
総合政策部長 利用はないが年度末までが期間だ。

議会のしくみ／表彰など

議案審議の流れ



議案は、合議制の意思決定機関です。条例の制定や予算などの決定、決算の認定、選任同意、請願の処理などを行っています。このことから議会を「議決機関」といいます。

これに対し市長は、市の仕事を行う代表者として実際の業務を行っており、このことから市長を「執行機関」といいます。

議会には定例会と臨時会があり、定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催され、臨時会は必要に応じてその都度開かれます。

議会のしくみ

議会をより身近に、また開かれた議会を広く市民のみなさんに理解いただくため、議会のしくみを紹介します。

議会には、議員全員が出席して行われる本会議と、本会議の審査機関としての常任委員会や、必要に応じて設置される特別委員会などがあります。

ほかに議会の進め方を決定する議会運営委員会などが設置されています。

甲賀市議会議員は、平成21年11月1日から27名の定数となっています。

会派

自分たちの考えを最も効果的に反映させるため、所属政党や主義・主張を同じくする議員が集まって会派を作っています。現在、甲賀市議会には5つの会派があります。

会派数は、清風クラブ14名、甲政クラブ4名、日本共産党甲賀市議員団4名、正政会3名、公明党甲賀市議員団2名です。

請願・陳情

誰でも、市政についての要望などを請願(1人以上の紹介議員の署名等が必要、陳情の形で市議会に提出できます)。

市議会では、請願については審査を行い、議会としての結論を出します。また、陳情は、議員の紹介を必要とせず、議会としての結論は出しません。

請願・陳情はいつでも受け付けています。が、定例会開会7日前までに受理したものは、その定例会で審査を行い、それ以降に受理したものは、次の定例会で審査することになります。

3議員が一般表彰受賞

平成24年度全国市議会議長会において、伴資男前議長が正副議長4年以上の在職、橋本律子・中島茂議員が10年以上の在職、また、滋賀県市議会議長会において、中島茂議員が10年以上在職されたことに対し、それぞれ一般表彰が送られました。



表彰をうける左から橋本、中島、伴の各議員

議会のインターネット中継

甲賀市議会の本会議の様を生中継、録画映像でも視聴できます。

9月議会から議場のカメラが前方1ヶ所が追加され3ヶ所になり、また、これまでよりも画像が鮮明になり映像が見やすくなります。

お詫びと訂正

5月1日発行の第30号の市議会だより、6ページの甲賀市市民福祉活動センター条例の一部を改正する条例の指定管理者が誤っていましたが、お詫びして訂正いたします。

正しくは「甲賀市社会福祉協議会」です。

組合議会の動き



甲賀組合 公立病院組合

地域貢献金額及び貢献率
(4月分まで)
25億3千231万円(31.2%)

5月22日、工事現場の視察研修が行われ、進捗状況、地域貢献率の説明を受けた後、視察しました。進捗は昨年の1~5月にかけて地中障害物の調査と除去工事があったものの遅れも取りもどし、現在は仕上げ工事が急ピッチで進み、予定通り



- 施工体系の内訳
- 仮設衛生工事 5社
 - 研り工事 1社
 - 屋外工事 3社
 - クレーン 2社
 - 躯体工事 2社
 - 鍛冶工事 1社
 - 鉄骨工事 1社
 - 衛生工事 2社
 - 電気工事 1社
 - 空調工事 1社
- (文責 小松正人)

甲賀広域 行政組合

「し尿処理施設」完成
第1回臨時会

6月26日、甲賀広域行政組合衛生センター第一施設(し尿処理施設)水処理設備完成報告会が行われました。平成22年度から24年度の3ヶ年事業の整備工事が完成の運びとなりました。

6月29日広域行政組合第1回臨時会が開催され、3件の全議案が可決されました。

■白煙防止用空気予熱器改修工事請負契約の締結について

契約金額 4億215万円
契約者 三井造船環境エンジニアリング(株)

工事概要
本施設稼働後18年目を迎え、現有焼却炉3炉の各系列ごとにある白煙防止用空気予熱器(主に排ガス冷却設備)について、3ヶ年事業により改修する。

■財産の取得について

①災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台。
②高規格救急自動車1台。

(文責 野田卓治)



建物概要 構造RC一部鉄骨2階建て
建築面積 447・1㎡
全体処理能力 96kl/日
事業費 7億9千590万円

議会活動報告(4月~6月)

4月 5日	広報特別委員会	編集会議	5月 16日	産業建設常任委員会	北海道北広島市来庁	6月 13日	議会運営委員会	
4月 10日	広報特別委員会	編集会議	5月 18日	環境対策特別委員会		6月 14日	議会改革特別委員会	
4月 11日	総務常任委員会		5月 21日	議会改革特別委員会		6月 15日	本会議	一般質問
4月 16日	広報特別委員会	編集会議	5月 22日	民生常任委員会		6月 18日	本会議	一般質問
4月 18日	環境対策特別委員会		5月 25日	総務常任委員会		6月 19日	本会議	一般質問・議案上程
4月 19日	産業建設常任委員会		5月 29日	議会運営委員会		6月 22日	本会議	議案審議・採決
4月 23日	議会改革特別委員会		6月 5日	本会議	議案上程・説明	6月 28日	本会議	議案審議・採決
5月 8日	地域情報化特別委員会			広報特別委員会	編集会議		本会議	議案審議・採決
5月 9日	文教常任委員会			環境対策特別委員会			本会議	議案審議・採決
5月 14日	交通対策特別委員会		6月 12日	本会議	議案審議・採決・付託		本会議	議案審議・採決

“こうか Vol.3 ええとこ 再発見”

甲賀の芭蕉の句碑のご案内。
今回は甲南町の句碑を紹介します。



梅香山 嶺南寺 (甲南町竜法師)

秋山に

あらし伏の

祈るこえ

元禄元年(1688年)芭蕉47歳の一句です。句碑の背面には「伊賀街道竜法師邸は山伏の里」と前書きが添えられています。



甲賀の芭蕉句碑 ③

岩尾山 息障寺 (甲南町杉谷新田)

行く春を

淡海の人と

惜しみけり

甲南町杉谷新田の岩尾山(約1m)の南東山腹にある息障寺(天台宗)への参道(杉谷新田から伊賀市横山に抜ける途中にある)をあがっていくと、石標「芭蕉旧跡」があり、大岩に芭蕉の句が彫られています。過ぎ去ってしまう春を惜しむ近江の人となりの情景が読まれており、句が彫られている大岩は、風化して判読しがたい状態になっています。



編集後記

◆さまざまな課題を残したまま大飯原発 3号機が再稼働されました。私達一人ひとりが出来る節電方法は、身近にいっぱいあると思います。ほんの少しの節電を心がけ、この夏を過ごしたいものです。

さて「議会だより」編集会議も回を重ねるごとに「紙面校正は」「見出しは」「写真の位置とサイズは」と議論伯仲！市民の皆様により読みやすく、よりわかりやすく、そしてより親しみやすい広報をお届けするために、さてその成果は…

(広報特別委員 今村和夫)

9月議会の予定

- 8月23日～24日 本会議 議案上程、説明
- 9月 3日 本会議 議案審議、採択、付託
- 4日 本会議 一般質問
- 5日 本会議 一般質問
- 6日 本会議 一般質問(予備日)
- 7日 委員会
- 10日 委員会
- 11日 委員会
- 12日 委員会
- 13日 委員会
- 14日 委員会 (予備日)
- 19日 本会議 委員会報告、採決

カメラの



7月7日の七夕の日、市内多くの保育園においても七夕祭りや夕涼み会が行われました。写真は岩上保育園の様子です。ヨーヨーつりやお菓子つかみ、輪投げなど多くの催し物で子どもたちは家族の方と一緒に元気に遊びました。教室ではうちわにシールや折り紙で飾り付けもしました。(写真撮影: 舩 藤男委員)